

日本政府に「核兵器禁止条約への批准を目指し、オブザーバー参加を求める意見書」提出!

竹田えつ子・すわみつえ(日本共産党)西尾綾子(社民党)議員提出の「核兵器禁止条約への批准を目指し、オブザーバー参加を求める意見書」は、賛成多数で議決し鴻巣市議会として政府に意見書を提出することができました。

さらに、日本被団協がノーベル平和賞を受賞というビッグニュースがありました。被爆の実相、核兵器の非人道性を語り続け、核兵器全面禁止を求める国際的な大きなうねりを生み出してきた被爆者のみなさんに心からの敬意を表します。

核脅威が強まるもとの受賞は、とりわけ大きな意味があります。今こそ、核兵器禁止条約を日本政府も批准し、核兵器廃絶を世界に働きかけるべきではないでしょうか。

市民の声が市政を動かし条例改定に

●家庭的保育事業の条例改定

保育士1人に対して、3歳児20人を15人に、4・5歳児30人を25人に改定する法改正に伴う条例改定が可決しました。保護者や保育士が求め続けてきた保育士の配置基準の見直しが76年ぶりに行われました。

●いじめ問題調査委員の報酬改定

いじめ問題調査委員会の委員報酬を引き上げる条例改定です。会議における聞き取り調査、報告書作成に係る日額・時間額を設定しました。子どもの命・人権を最優先とすることが求められます。適正な報酬と適切な委員の人選が大切です。2024年度は、中立性公平性が守られた委員会となるよう「いじめ調査アドバイザー」を利用し調査委員を選任しています。

●会議出席及び調査に従事する場合の報酬(改定)

区分	改定前	改定後
委員長	日額16,000円	日額20,000円
委員	日額15,000円	日額18,000円

●報告書作成に従事する場合の報酬(新規)

時間額10,000円

法律・生活相談

生活相談はいつでもどうぞ。法律相談は毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子・すわみつえ

こうのす民報

議会報告版

2024年11月号 第445号

★政務活動費で議会報告を作成しています。

(1) 日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団
鴻巣市天神5-5-15

竹田えつ子 すわみつえ
☎542-7072 ☎507-4151
FAX542-7101 FAX596-9440

2023年度の一般会計決算額は約434億円

鴻巣市の一般会計の決算額は、歳入約434億円、歳出は約412億円でした。繰越明許費として約2億円、繰越金は約20億円でした。

鴻巣市は財政的に余裕がある

市には財政調整基金約32億円をはじめ、16項目の目的別基金約99億円があります。財政に余裕がなければ基金は積み立てることはできないと思います。財政調整基金などを活用し、学校給食費の無償化など市民のくらしを守るために使うべきと主張しました。

企業版ふるさと寄付金220万円の中で、企業名および金額の非公表希望社が1社ありました。裏金問題が大きな社会問題となっている時に、公表できないような企業からの寄付金は受け取るべきではないと問題を指摘しました。

鴻巣市の教育行政を大きく転換することになる、川里地域における小中一貫教育校整備の基本構想・基本計画策定業務委託料が含まれています。小学校3校を廃校にすることへの反対意見が多くあります。事業への合意形成がと

れていないうことは、意見交換会での様々な意見、またアンケートに寄せられた意見からも明白です。小中一貫教育校は学校統廃合の促進や教職員の削減、施設・設備費の削減などを進めるものとなると反対しました。

マイナ保険証がなくても大丈夫

紙の「資格確認証=保険証」は、申請しなくとも市から交付されます

自公政権のもとで、12月2日からマイナ保険証の義務化が強行されようとしています。これに伴い、9月議会で、埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更、国民健康保険条例の一部改正の議案について審議しました。

鴻巣市で、後期高齢者医療に加入している方でマイナンバーカードに医療情報を紐付けする割合は7月16日現在55.1%、国保加入者は58.38%です。

市は、後期高齢者医療、国保加入者の「資格確認証」は、申請しなくとも交付すると明言しました。

総選挙 日本共産党は8議席確保

10月27日投開票の衆議院選挙で、日本共産党は、10議席から8議席に後退する結果となりました。小選挙区では、「オール沖縄」の統一候補日本共産党・赤嶺政賢氏が議席を確保しました。ご支援いただいたみなさんに心より感謝申し上げると共に公約実現に向けて全力を尽くしていきます。

小選挙区埼玉6区の開票結果

	鴻巣市	6区全体	得票率
秋山もえ(共)	4,295	24,735	12.1
大島あつし(民)	27,713	104,836	51.3
中根一幸(無)	12,730	50,425	24.7
細谷みえこ(維)	5,867	24,341	11.9



竹田えつ子議員

鴻巣駅東口にエレベーター設置を 非正規で働く職員の待遇改善を

鴻巣駅自由通路の 点検状況について

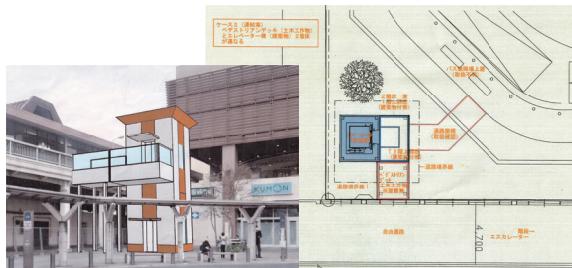
7月25日、鴻巣市は東日本旅客鉄道株式会社高崎支社とJR鴻巣駅自由通路の総点検について協定書を締結しました。締結内容とそれがどこまで進捗しているのか質しました。

市は、準備工を経て9月から着手し、12月末までの期間自由通路の点検を実施し、その点検内容について今年度末に業務委託が完了する予定となっているとしました。点検結果を踏まえ、エレベーター設置に向けた実施設計業務委託等を予定したいと答えました

鴻巣駅東口にエレベーター設置 について市民の声を聞くこと

図は、2023年(令和5年)鴻巣駅東口エレベーター基本設計業務委託報告書で示されたエレベーターの設置場所とエレベーター棟の設計図です。屋根のないデッキとなっていることに、さまざま疑問・要望が市民から出されています。市民の声をもっと聴くべきではないかと質しました。

市は、駅に接続するエレベーターの必要性は、認識しているので、鴻巣駅東口にエレベーターを早期に設置できるよう関係機関と連携し、事業の進捗を図っていくとしました。



放課後児童クラブについて

指定管理者の変更に伴う、放課後児童クラブの運営について

今年度より、市の公営の放課後児童クラブ17施設の内、14施設の指定管理者が変更となりました。このことにより、子ども達への影響はないのか確認しました。

市は、前期の5年間から指定管理者が変更になった内11施設において、全体の7割の支援員が引き続き同じ施設で支援を継続しており、指定管理者の変更により、子ども達への影響があったとの声は聞いていないと答えました。

会計年度任用職員の待遇改善について

退職金制度の周知と、フルタイムで働く職員を募ることについて

今、会計年度任用職員なしには、行政サービスが成り立たないといつても過言ではありません。鴻巣市では、627人が会計年度任用職員として働いています。フルタイムでなければ退職金制度もありません。昨年12月27日の総務省自治行政公務員部長の通知に沿って、フルタイムの会計年度職員を採用すること、その周知を行うことについて質問しました。

市は、来年度からフルタイム会計年度任用職員としての採用を考えており、任用の際は退職金制度について周知を図っていくとしました。

(会計年度任用職員とは、自治体で働く非正規職員です。任期は基本的に1年ですが、希望に応じて更新もあります)

一般質問



すわみつえ議員

小中一貫校整備はいったん立ち止まる英断を コミュニティバス・フラー号運行拡充は

川里地域の広田小学校・屈巣小学校・ 共和小学校を廃校にしていいのか

質問

川里地域における小中一貫教育校整備は、2024年度中に学校新設の設計事業者を選定・決定する計画としています。

「小中一貫教育校」は、学校統廃合の促進や教職員の削減、施設・設備費の削減などを進めるものとなると考えます。

中学校1校に対して、校区の小学校は複数存在します。一貫校を設置すれば、一気に複数の学校を廃止することとなります。

川里地域の小中一貫教育校、川里村から続いた、広田小学校・屈巣小学校・共和小学校の3校が消えることになります。

計画をいったん立ち止まり見直す英断をすべきではないかと考えます。見解を伺います。

答弁

基本構想・基本計画は懇話会やアンケートで地域の皆さんからの意見を踏まえ定めてきました。今後も皆さんとともに検討し、取り組みます。というもので、「立ち止まる」考えはないということです。

今後の取組

鴻巣市では2031年度に川里地域で小中一貫校を設置し、さらに市内全域で小中一貫校設置を目指すとしています。子どもたちの教育環境を

大きく変えることになります。学校を核として地域が発展してきました。教育行政・まちづくり行政を大きく変えることになる「小中一貫教育校」を進めてよいのか今後も質します。

コミュニティバス・フラー号の運行継続 のため「運転士確保事業」を

質問

土曜日運行の減便で、通学・通勤・通院の足に大打撃。減便の理由は、運転士不足に加え、2024年4月からの時間外労働規制が始まっています。

「市民の移動の権利を守る」対策をたてるべきではないでしょうか。

2023年に、地域公共交通活性化再生法の改正がありました。国や自治体が財政的にも責任をもつ方向に足を踏み出しました。公共交通への公的支出によって、他の分野の支出が削減できることなどを国土交通省も推奨している考え方です。

本市における、運転士の人材確保のための施策を伺います。

答弁

「課題解決に向けて事業者等と意見交換を行う」とのことです。

今後の取組

引き続き、市民の皆さんからの声を届けてまいります

本当がわかる
明日が見える

しんぶん赤旗

●日刊紙／月3,497円
●日曜版／月990円

見本紙
お届けします

裏金疑惑、政治、社会保障、経済
…「本当のことが知りたい」
その思いにこたえる新聞です。
暮らしに役立つ情報も満載です。